



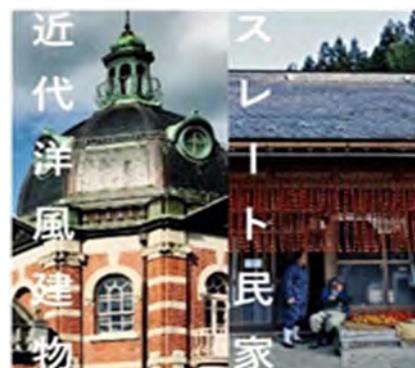
# チャレンジ！国産天然スレート試験生産 10,000 枚

－近代洋風建築とスレート民家 ふたつの景観保全をめざして－

## ■背景と必要性

国内には、赤レンガ館などと称され市民に親しまれている洋風の建物があります。戦禍をかいくぐった明治大正期の佇まいは、地域を象徴する建物として活用されています。この洋風建築の屋根の多くには『天然スレート』と呼ばれる石材が使われ、往時その殆どは、桃生郡十五濱村(現、石巻市雄勝町)で産出していました。JR 東京駅はよく知られた存在ですが、岩手銀行赤レンガ館など東北にもその勇姿はあり、さらに同じ石材をまとう民家群が、この地方特有の景観をつくっています。

しかし震災後の産地では、生産拠点が被災し、技能者の高齢化も相まって、いまだ再建は叶いません。近代国家の歩みを象徴する都市の歴史遺産と、生業に依拠するスレート民家。ふたつの景の保全には、雄勝のスレート生産が不可欠です。



## ■目標

国産雄勝天然スレート 10,000 枚 の生産

一枚の天然スレートは採石という土木仕事に始まり、厚さ6mmの石の板に割る精緻な手作業でつくられ、工程のほぼ全てが先達の技能によって支えられていました。

10,000 枚とは、屋根面積に換算すれば 50 坪ほどしかありません。しかし、失われつつある技の一つ一つをよみがえらせ生業につなげ、さらに新たな創造の原資とすることで、郷土のかつてを敬い、いまを誇り、みらいを貴う。

この地でしか成し得ない生業の復活を目指します



## ■報告会プログラム

開会

主催者挨拶／雄勝硯生産販売協同組合理事長

祝辞／石巻市長(予定)

趣旨説明

### 第一部 《プロジェクト報告 45 分》

- 石を掘る、石を割る 採石～大割～成形 一連の作業詳報 / 得られた物事、雄勝石と技能
- 石に触る、石で結ぶ 道の駅企画展より / 品質の検証と広報
- 小割実演

### 第二部 《シンポジウム 60 分》

テーマ 『仮)雄勝石のみらいチャレンジ』

主に、国内の近代洋風建築物における文化財修復現場では国内産が無いという理由で、海外産が代用されているのが実情です。資源はあるにもかかわらず知識と資金がないことで、思うに任せぬ事態が続いています。

反面、かつて町を賑わした産業の再生へと好転すれば、著しい人口減少に加え、超高齢化した雄勝地区にあって、小規模でありながらもこの地で暮らすための生業としての期待も少なくありません。

近年では、産学官連携による産業振興モデルに加えて社会団体による支援の実効性は見逃せません。

こうした各界関係者と識者を招へいし、『硯の町・雄勝』『スレートの町・雄勝』を復権する転機として、雄勝石から雄勝の未来を語ります。

講評・閉会

◆参加方法……どなたでも、ご自由に参加いただけます。直接、会場にお越しください。

オンライン参加をご希望の方は、7月10日(日)まで下記の E-mail からお申し込みください。

◆感染症対策……入室の際に検温と消毒を実施します。37.5 度以上の体温が確認された場合は入室をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、マスクの着用は厳守して下さい。

◆主催……雄勝硯生産販売協同組合 / 東北工業大学地域連携センター

◆問い合わせ……主催者事務所 TEL 0225-57-3211 E-mail info@ogatsu-suzuri.jp 担当|山下・新田